

平塚市市民活動推進補助金 令和1年度事業報告書 **（入門・発展コース）**

1 団体名	安心・安全を考える会	
2 事業名	レッツ防災119、レッツ防犯110	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース	10 万円
4 実施期間	(開始期日) 2019年 4月 1日 ~ (完了期日) 2020年 3月 31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>少子高齢化の進展の中、防火意識・防犯意識の希薄化が懸念されます。そこで、子どもや高齢者に対し、新しく考案したCDによる言葉（歌詞）や振付された踊りを通じて、119番や110番に親しみを感じてもらい、多くの方に防火意識や防犯意識の向上を図ることが重要です。そのためには、地域の中で誰でもが手軽に参加できる市民活動が必要と考えました。</p> <p>まず、2019年度は、レッツ防災119のCDや踊りを確定して作成。各地域で開催される盆踊りや市民祭り、防災まつりなどに参加して多くの方に防火意識の向上を図ることを目的とします。</p> <p>次のステップとしてレッツ防犯119番のCDの作成や踊りの振付を考案して各地区での防犯意識を高めます。これらを通じて平塚市の安心、安全なまちづくりの推進に役立ちたいと考えています。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>レッツ防災119のCDを100枚作成し、CDのことばと踊りによる発信力により、防災意識を高めた。</p> <p>レッツ防犯110の内容を検討し、CDの内容や踊りの振付等を研究。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CDを100枚作成し、市内の希望する小学校に無償で配布、 ・ 防災ののぼり旗を2本作製、寸劇用のタスキや衣装も整備。 (ユニフォームの作成は、デザイン上の問題で次年度に持ち越し) ・ 市消防と連携し市民の防火意識を高めた。 (10月開催の市消防フェスティバルに参加予定でしたが台風のためイベントが中止。また3月開催のスポーツフェスタもコロナの影響で中止) ・ 地域の盆踊りなどのイベントに参加、7月28日なでしこ大盆踊り大会や8月14日の平塚八幡宮の例大祭で各30分間、地域の方と演舞。 ・ 7月5日の平塚七夕まつりの市民ステージで、寸劇を交え、防災をPR ・ 10月には伊勢原の道灌まつりに参加、寸劇を交え、防災を広域でPR 	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>平塚市は持続可能なまちをめざしていますが、とりわけ安心。安全なまちづくりは大変重要なテーマです。そこで</p> <p>レッツ防災 119 に取り組むことにより、火災に対する防火意識や災害への対応意識、119 番の救急車両などへの意識が、以前よりも高まったと感じています。特に、地域での盆踊り大会や七夕などのイベントの参加の中で、寸劇の披露や市民と一体となった踊りにより、消防に対する市民の意識変化が見られ、市民が消防を身近に感じ、より親近感を持ったと思います。</p> <p>また、伊勢原市の道灌まつりに参加しましたが、大変評判がよく、参加者の多くが一緒になって防災音頭を踊りました。このように、防災音頭の活動は、広域的なつながりが重要です。平塚から各市に防災音頭を発信し、防災の輪のつながりが広まれば、より効果が期待できます。</p> <p>平塚八幡宮の盆踊り大会では、つるみね幼稚園の園児も多数参加して、親子での演舞となりましたが、他の地区でもこのような取り組みを考えたい。</p> <p>いずれにしても、1年間の短い期間でしたが、成果として、レッツ防災119の活動を通じ「119」の再認識と防火意識の向上が図られたと思います。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>当初、消防の防災と警察の防犯を一緒にできればと考えていましたが、時間と予算の面で、防犯が出来なかったのが残念でした。この点は次年度の発展コースで相乗効果が図られると考えています。</p> <p>また、台風で消防フェスティバルに参加できなかったのが大変惜しまれました。このイベントでは市消防署員も多数参加される予定で防災意識の向上を図ろうとの強い思いが伝わってきたため、残念でした。</p> <p>予算の執行面では、ユニフォームが購入できませんでしたが、次年度では必ず購入します。</p> <p>小学校へCDを無料配布しましたが、各学校の考え方の違いもあり、CDを有効に活用できなかったのは残念です。今後、子どもたちへの防災意識の浸透は地域社会の活動の中で、大人と一緒に楽しく踊ることで進めていきたいと考えます。</p>
<p>9 今後の 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>地域や家庭の安心・安全は、防災と防犯が相まって、相乗効果を上げることが大変有効です。従って、今後のCDやちらしの作成は、レッツ防災119とレッツ防犯110を一緒にしたもので構成し、地域のイベントなどで踊りや寸劇で地域や市民の安心・安全につなげていきます。</p> <p>特に、オレオレ詐欺被害が増大している中で、レッツ防犯110は大変、効果的なインパクトのあるCDとして期待されます。</p> <p>市民や地域を巻きこんだ防災。防犯の活動は、継続と広がりが必要と考えますので、次年度以降は、SNSや動画などを研究し、発信力の強化をはかり、消防や警察の応援団として活動をしていきたいと思ひます。</p>

活動・事業の収支決算書

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
補助金	100,000	100,000	0	平塚市市民活動推進補助金
参加費	70,000	60,000	-10,000	会員1名手術入院のため減額
団体会員の会費	0	69	69	団体会員会費の一部を事業費に充当
収入合計	A 170,000	B 160,069	B-A -9,931	発展コース：補助対象経費 円 × % = 円 補助限度額 円
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)
① 収入				
② 支出				
消耗品費	13200 (10000)	5369	5369 (5000)	-7831 のぼり旗2枚4654円、コピー220円、文房具495円
物品購入費	60000 (40000)	41880	41880 (40000)	-18120 寸劇衣装代10枚3万円、たすき10本5400円、エプロン他6480円
講師謝礼	50000 (30000)	90000	90000 (35000)	40000 音源3万円、CD1万円、チラシ2万円、振付・踊り指導他3万円
印刷費	30800 (10000)	8400	8400 (8000)	-22400 チラシ印刷3000枚8400円
通信・運搬費	4000 (4000)	2420	2420 (2000)	-1580 切手代1680円 レターパック740円
旅費交通費	12000 (6000)	12000	12000 (10000)	0 3000円×4回×10名
支出合計	C 170000 (100000)	D 160069	D-C -9931	
① 収支決算額	B 160069 円 - D 160069 円 =	0 円		【備考】

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



平塚八幡宮の盆踊り



つみね幼稚園の園児と。
(平塚八幡宮のくまさん)

平塚市市民活動推進補助金 令和元年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	八幡郷土史編纂委員会	
2 事業名	八幡郷土史集大成版の作成準備	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> 入門コース	・ 発展コース 10万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年4月1日 ~ (完了期日) 令和2年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	今まで発刊した計4刊の見直し追加項目等を入れ1冊の本として、発行したい。特にこの地域にお住いの高齢者の方々に戦争体験や昔の暮らしなどのお話をお聞きし、それ等を纏め後世に伝えていきたい。 八幡に特化した歴史書(又は類する書籍)が無いので、八幡にお住いの長老達がお元気の内に読んで頂きたい。又間違いがあればご指摘頂きたい。 この本を読んで、八幡の歴史が判り郷土愛を持って頂きたい。 近年この八幡には、戸建て住宅が続々建設され移り住んだ、主に20代~40代の若いご夫婦に八幡の歴史を良く理解して頂き、それを子供達に伝えてほしい。 八幡に住むお年寄りが過去を思い出し、懐かしむ(昔あった商店や事業所等)又、古くからこの地に伝わる“格言”等も網羅して、先人の知恵も伝えていきたい。	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	八幡自治会館で、原則として会員全員参加の(10名)で郷土史の改編・編纂活動を月2回のペースで行った。 今までは、“紙の本”に固守していた為、ネットの活用方法を殆ど議論してこなかったが、ここで、地域情報局への集大成本掲載に向けて、掲載方法を学んだ。	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>八幡自治会館で月2回改編・編纂活動を行った結果、全体的に80%程の進捗が得られた。</p> <p>地域情報局への掲載方法を学び、集大成本の掲載準備を整えた。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 印刷・製本業者の選定が課題 <ul style="list-style-type: none"> 業者に持ち込み見積など相談するほどの内容になっていない。 ネット上での調査では価格の差が大幅で判断できない。 ② 集大成本の配布方法の検討 <p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 八幡小学校3年生の児童を対象とした課外授業は新型コロナウイルス感染防止のため中止
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 現在80%程作業が進んでいるため、残り20%の作業を進め集大成本の完成を目指し、印刷・製本業者を選定する。 ② コロナウイルス対策で見送られた課外授業は、今後とも継続して調整し、実施したい。 ③ 集大成本の完成により、講演会等も計画したい。

活動・事業の収支決算書

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)		決算額 (円)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
	A	B	C	D		
補助金	100,000		100,000	0	0	平塚市市民活動推進補助金
自治会補助金	40,000	0	0	-40,000	-40,000	八幡地区自治会連合会補助金は団体会計に充当したため
会費	30,000	0	0	-30,000	-30,000	団体会計に充当したため
収入合計	170,000	B	100,000	B-A	-70,000	発展コース：補助対象経費 補助限度額 円 × % = 円
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)		増減額 (円)	具体的な内容 (積算根拠等)
食料費	(10,000) (0)	9,363	(0) (0)		-637	飲料水費 7,419円 手土産費 1,944円 団体会計から支出
光熱水費	(5,000) (5,000)	5,700	(5,700) (4,500)		700	冷暖房費 5,700円
使用料	(25,000) (25,000)	15,000	(15,000) (15,000)		-10,000	八幡自治会館 500円/回×30回
印刷製本費	(130,000) (70,000)	22,970	(22,970) (20,500)		-107,030	プリント代 22,970円
	()		()			
	()		()			
	()		()			
	()		()			
支出合計	C 170,000 (100,000)	D 53,033	(43,670) (40,000)	D-C	-116,967	
◎ 収支決算額	B 100,000 円	-	D 53,033 円	=	46,967 円	【備考】 余剰金 60,000円は返還します。

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



大木



平塚



鳥居



石碑

平塚市市民活動推進補助金令和元年度事業報告書（入門・**発展コース**）

1 団体名	NPO 法人 暮らし・つながる森里川海	
2 事業名	湘南いきもの楽校プロジェクト「子どもが元気、いきもの元気、地域が元気」	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ 発展コース	30万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年4月1日 ~ (完了期日) 令和2年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	プロジェクト「子どもが元気、いきもの元気、地域が元気」の展開 (1) ワークショップ、中学生・高校生が考える環境に優しい生活（仮称） マイクロプラスチック汚染を自分ごととして捉え、削減策を模索し発表する。 (2) ひらつかおもちゃ広場の定例開催：木育活動により、子どもたちの感性を育む。 (3) 平塚SDGs「ひらつか生き物がかり養成講座」川編（仮称） 川の自然と触れ合う、生物多様性保全活動に取り組む (4) 子どもたちを対象にした自然と触れ合う環境学習活動の展開 (5) 上記活動を通じたネットワークづくり ■社会的背景 日本の子どもたちは元気がありません。学力・体力・運動能力の低下、生活習慣病の増加、コミュニケーション能力の低下、不登校、いじめ、自殺等、極めて危険な状況に置かれています。自然離れも深刻です。子どもたちの生育環境の改善が必要です。 環境悪化も進んでいます。ツバメやニホンミツバチなど身の回りに普通だった生き物が姿を減らしています。マイクロプラスチック汚染、地球温暖化等、先送りできない状況になっています。「みんな大きな地球家族の一員」をモットーに、人と自然が調和したまちづくり、子どもたちの笑顔が溢れるまちづくりを進めていきます。 上記の課題を解決するためには、市民が自分ごととして取り組む展開方策が必要です。地域のコミュニティと密接にからみあった展開、人、モノ、資金、情報の共有化に裏打ちされた推進体制の構築を目指します。	
6 実施した内容 活動・事業の実績（実施内容・実施日・場所・参加人数など）について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	(1)：地元中学校との事前合意を得ていたが、担任が変わったこと、休日実施はできないとの理由により中止になった。 (2)：おもちゃ広場：4月13日、6月15日、8月7日、8月10日、9月21日、10月19日の6回実施。新型コロナウイルスにより、3月8日、3月22日は中止。7月25日にユースボランティアを対象におもちゃ研修会を開催した。 (3)：水ガキ養成講座として、4月6日（お魚調べ：ウナギの保護活動）、6月1日トンボ池エコアップ、7月21日（カヌー&ガサガサ魚採り）、8月3日（川の自然楽校）、8月17日（桂川・相模川上下流交流会）、8月31日（海のお魚調べ）、9月28日（お魚調べ：ウナギの保護活動と水質検査）、2月15日（地べた探検）を開催した。天候不順により、ヤギ島探検ツアー、中流域のお魚調べ、ちびっ子水族館づくりは中止。 (4)：お散歩バードウォッチング（6回）、平塚市緑化祭り（4月27～28）、花木地区子ども大会（5月12日）に参加し好評を博した。 (5)：馬入水辺の楽校の利活用促進とネットワークづくりを目途に、ワークショップ「ミズベリング in 馬入水辺の楽校」を開催し、11月16日に「ともしびの夕べ」を開催した。馬入水辺の楽校自然展、野遊び体験、ワークショップガラス瓶キャンドル・竹灯籠づくりと灯りの祭典を楽しんだ。	

<p>7 得られた成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>(1)おもちゃ広場：おもちゃ広場、けん玉教室等、大変好評であった。けん玉講師と定期開催の合意が得られたことは大きい。(子供 175 人、大人 64 人=239 人)。人集めが難しいことから、人の集まる場所で開催しようと「ららぽーと湘南平塚」のツリーハウスで開催し、参加者増に結びついた。サンサンマルシェでの開催も企画したが新型コロナウイルスで中止になった。</p> <p>(2)森と海はつながるをコンセプトに活動の輪を流域に広げた。子供 131 人、大人 198 人=329 人の参加となった。生物多様性の保全をテーマにお魚調べや地べた探検を開催した。国土交通省京浜河川事務との協働で相模川の水質チェックにも取り組んだ。</p> <p>(4)平塚市緑化祭りでは、パネル展、草笛教室、ストーンペインティング、ミミズと遊ぼう、ミニミニ水族館が好評で、人が途切れることがなかった。花水地区子供大会も子供達の人気となり、用意した石がなくなるほどの盛況ぶりであった。継続開催の要望が来ている。松原公民館、四之宮公民館との連携も進み、平塚地域情報局で活動 PR していただけることになった。</p> <p>(5)ワークショップは NPO フュージョン長池のコーディネートで 10 回開催、11 月 16 日の「ともしびの夕べ」として結実した。当日は 600 人余の市民で賑わった。昼間は馬入水辺の楽校パネル展や野遊び体験、竹灯籠づくりなどのワークショップが開催され、親子連れで賑わった。夜の会場は竹灯籠やガラス瓶キャンドルの幻想的な光で包まれ、継続開催の声があがった。開催にあたっては、地域ボランティアゆとりすの皆さんや日本野鳥の会神奈川支部など、新たな人的交流が図れた。平塚市漁業協同組合や進和学園、ららぽーと湘南平塚など 14 組織の支援を得ることができた。新年度も継続開催し、馬入水辺の楽校の存在価値を高めていきたい。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>(1) 異常気象や新型コロナウイルスにより計画していた催し中止になった。開催すべきかどうか悩む場面が増えた。講師との日程調整にも影響を与えた。</p> <p>(2) 広報力の強化 平塚市広報やタウン誌等の支援を得られたが、思うように参加者が集まらないことから、企画内容やキャッチコピーの工夫、ビジュアル展開等、工夫を図って行きたい。人の集まる場所で催しを開催し、参加者増につなげたい。</p> <p>(3) 催しの選択と集中 人的体制が弱いことから、催しの選択と集中を図ると共に、新規運営委員やボランティアの獲得、他団体等との協働開催を模索したい。</p> <p>(4) 市民アンケートの実施 市民ニーズを把握するため、アンケートを実施したい。</p> <p>(5) 資金力の確保 経営の安定を図るため、無駄な費用の削減を図ると共に、資金力の確保に努めたい。</p> <p>(6) 担当の明確化により、労力の分散を図りたい。</p>
<p>9 今後の事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>新年度は活動 20 年目の年となる。 馬入水辺の楽校のフィールドミュージアム化を目標に、長期にわたって運営できる仕組みづくりを進めたい。 基軸は市民参加による市民のための楽校づくり。 そのための施策として人材育成に重点を置きたい。(1) 子供達を対象にした自然探偵団の結成。(2) ナチュラリスト養成講座の開講による環境市民の育成、(3) 生き物がかり隊の結成による生き物の王国づくり、(4) ワークショップの開催による馬入水辺の楽校の新たな利活用策の模索を柱に、活動を展開していく。 課題である資金づくりについては、会員の増、適正な参加費の徴収、各種助成金の確保、クラウドファンディング、企業支援の獲得を図っていく。 広報の強化については、ビジュアルでの情報伝達の工夫や人の集まるイベント等で、催しを開催し、当法人の活動を PR していきたい。</p>

活動・事業の収支決算書

※ 団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
補助金	300,000	300,000	0	平塚市市民活動推進補助金
① 収入				
参加費	135,500	96,800	-38,700	お魚調べ2,700、おもちゃ広場3,000、お散歩パードウオッチング900、トンボ池エコーアップ600、カヌー27,000、川の自然楽校8,600、おもちゃ広場5,000、相模川上下流交流会19,000、海のお魚調べ(2回)19,600、おもちゃ広場1,500、ともしびの夕べ3,900、お散歩パードウオッチング(2回)2,200、地べた観察2,800
自己資金	273,160	31,160	-242,000	予定していた催しの中止や資材等の未購入による
収入合計	A 708,660	B 427,960	B-A -280,700	発展コース：補助対象経費427,960円×80%=342,368円 補助限度額 340,000円
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
謝金	230,000 (100,000)	81,874	81,874 (41,123)	川の自然楽校(三森氏17,958+振込手数料110、山本氏4,490+振込手数料125) 地べた観察(三森氏17,958+振込手数料110) おもちゃ広場 片山氏(10,000×2回)けん玉講習会(9月)遠藤氏(5,000)けん玉講習会(10月)遠藤氏+補助講師(6,000)海のお魚調べ(10,000+振込手数料123) ※ ヤギ島探検、ガサガサ探検隊、聞き虫、自然観察入門講座、カヌー体験、人形劇、定置網見学は中止又は未実施のため減
② 支出				
研修費	30,000 (30,000)	0	0 (0)	おもちゃ広場のボランティア参加者が見つからずに中止
器具、消耗品、保険代	402,000 (160,000)	322,406	322,406 (245,137)	チラシ印刷14,180、レンタルトイレ10,000、カヌー保険代12,100、ともしびの夕べ賠償保険5,000、障害保険33,100(年度払い) ランタン2,889+8,511、木のおもちゃ74,059+振込手数料360、箸づくりキット45,754、けん玉28,770、ウエイダー43,840、クランプ2,454、セロハン324、LEDライト25,910、電池15,155 ※ ゴミアート製作費等、カヌー保険は事業中止のため減
交通費	46,660 (10,000)	23,680	23,680 (13,740)	川 of 自然楽校(三森氏4,970)地べた観察(三森氏4,970)海のお魚調べ(手良村氏13,740) ※ ヤギ島探検、自然観察入門講座、定置網見学は中止又は未実施のため減
支出合計	C 708,660 (300,000)	D 427,960	D-C -280,700	
③ 収支決算額	B 427,960円 - D 427,960円 =	0円		【備考】 上記費用の内、下線が補助金対応

※ 支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

●4月28日平塚市緑化祭り：ちびっ子達で大賑わい
草笛教室（写真上左）、ミミズと遊ぼう（写真上右）、ストーンペインティング（写真下左）、
ミニミニ水族館（写真下右）



* 5月12日：花水地区子ども大会：こちらが一番人気！

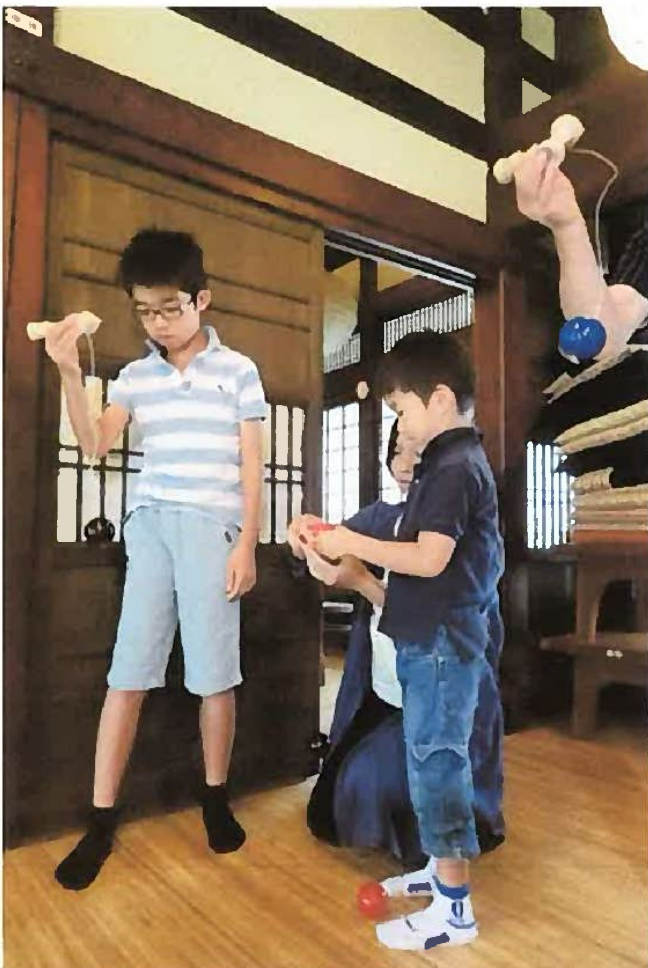


●ミミズと遊ぼう（写真上右）
ミミズの卵から、赤ちゃんが生まれます。ちびっ子達を魅きつけます。

●ストーンペインティング
用意していた石がなくなるほどの人気ぶり。

●木のおもちゃと触れ合う（木育活動）

「おもちゃ広場」を古民家やららぼーと湘南平塚などで開催。ガラス瓶キャンドルづくりやけん玉教室が人気を呼んだ。



●マイ箸づくり（写真右上）

●ガラス瓶キャンドルづくり（写真右下）

●川ガキ養成講座

川や海の自然と触れ合う。川の自然楽校（8月3日）には51人が来校した。



● カヌー&ガサガサ魚とり（7月21日）

● ウナギに触る（9月28日お魚調べ）

●石倉カゴを設置するなどウナギの保護運動に取り組んでいる。ちびっ子も参加する。



●冬の生き物調べは大人気だ！（地べた探検：2月15日）



水辺の楽校は遊びの天国だ。冬もいろいろな生き物に出会える。

生き物の住処づくりにも力を入れている。枯れ木を摘むと虫などが住み着く。カブトムシの幼虫が見つかった。

●平塚新港お魚調べ（8月31日）

定置網で採れたお魚を調べる。網で藻の下などを探ると、いろんな生き物が見つかる。



- 漁港の中は小魚がいっぱいいる。ふだん目にできないオニカマスの稚魚が見つかる。(写真左下)
- 夜の港は幻想的な世界が広がっている。ライトで照らすとアンドンクラゲなどがユラユラ集まってくる。みんな、飽きずにじっと見つめてしまう。(写真上左)
- ほんの少し拾っただけで、マイクロプラスチックの予備軍がこんなに集まる。(写真上右)

●桂川・相模川上下流交流会（みんな元気だ！） 8月17日

山梨県の戸沢川で清流の生き物調べと皮むき間伐体験を楽しむ。森と海が繋がっていることを知る。
山梨の子どもたちとの交流も楽しい。



● ともし火の夕べを開催（11月16日）

馬入水辺の楽校の新たな利活用を目指して、ワークショップ「ミズベリング in 馬入水辺の楽校」を10回開催。灯りの祭典「ともし火の夕べ」として結実した。



会場には 600 人余の市民が訪れ、馬入水辺の楽校自然展や野遊び体験、竹灯籠づくり（写真上右）などを楽しんだ。2020 年度も継続開催して行く。

平塚市市民活動推進補助金令和元年度事業報告書（入門・発展コース）

1 団体名	カベラ日本語の会	
2 事業名	「ボランティアのための養成プログラム」作成と増える日本語を母語としない人への日本語を通じた支援の継続	
3 コース区分 ・補助額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください。 入門コース ・ 発展コース)	18万円
4 実施期間	(開始期日) 平成31年4月1日 (完了期日) 令和2年3月31日	
5 事業の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>平塚市には多くの日本語を母語としない市民がいる。カンボジア、ベトナム、ラオスからの難民の方、国際結婚で日本に来た方、仕事を求めて日本に来た方、技能実習生として来日した方、仕事で来日した方等様々である。 そのためカベラ日本語の会に求められるニーズも多様化し増加している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活をサポートする 子供や家族とのコミュニケーション 仕事を得るため、また仕事に必要な資格を取る 本国に帰って日系企業に就職するために日本語の資格を取得 日本での仕事に必要 <p>今年度は外国人労働者を受け入れる新制度、特定技能1号、2号が制定され、技能実習生や企業研修生も含め、外国人労働者が増え日本語を学習するニーズが高まる。一方でボランティアの不足や日本語支援レベルに差がある。2018年度ひらつか市民活動ファンドを利用し自前で養成するための「ボランティア養成プログラム」の試作テキストを作成してきた。 2019年度は細部を検証しながらテキストを作成し完成させる。さらに2020年度にこのテキストを用い、ボランティア養成講座を開催したい。</p>	
6 実施した内容 活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>(1) <u>ボランティアのための養成プログラム作り</u> 1. 毎月の定例会後、ボランティア養成プログラムのレビューミーティングを合計10回開催した。(中央公民館：13：30～16：00 5月～2月までの第3土曜日 参加人数：10～12人) 実施内容：Word原稿、インデザイン原稿を全員でレビュー 2. 神奈川県立国際言語文化アカデミア坂内先生に1月18日、2月15日の2回最終版の原稿を見ていただき、レビュー修正改善をした。</p> <p>(2) <u>ボランティアのための養成プログラムのインデザインデータ完成と印刷製本</u> 読み易いよう全体の構成を見直し変更し、仮印刷、レビューを繰り返し、インデザインデータの編集完成、製本を完成させた。</p> <p>(3) <u>新制度による特定技能1号、2号の調査</u> 4月からスタートした新制度(特定技能1号2号)を調査し、上記テキストに反映させた。</p> <p>(4) <u>日本語教室の継続</u> ○中央公民館(土) ○市民活動センター(水) ○横内公民館(水) 全教室開催回数合計：117回 205.5時間</p> <p>(5) <u>イベントを通じて自然な日本語に触れ、国籍を超えてコミュニケーションを図る</u> ・ボリソグ大会 12/15・クリスマス会 12/18・農業体験 2/29</p>	

**7 得られた
成果・効果**

活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。

また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。

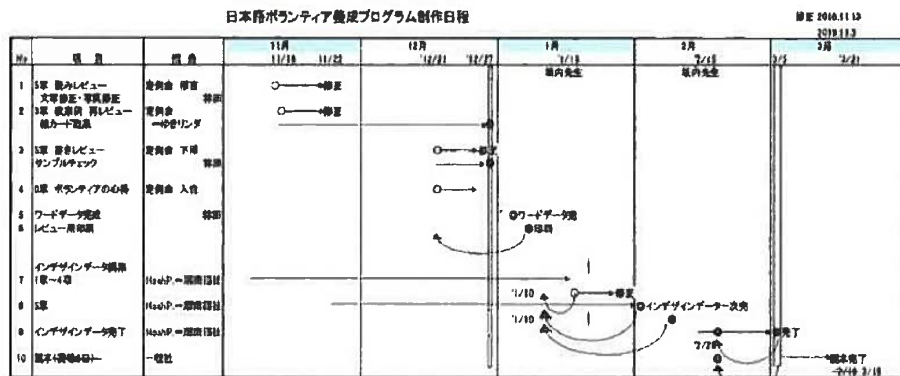
- (1) ボランティアのための養成プログラムミーティングをすることで、ボランティア経験の短い人の研修となった。また支援方法のレベルアップが図れた。
今回「ボランティアのための養成プログラム」を最終的に「日本語ボランティア実践ノート」として完成することで、ボランティアを自前で養成できる準備ができた。それにより、今後の活動継続の原動力となった。
- (2) 「日本語ボランティア実践ノート」をベースにボランティアが学習者の日本語力向上と困りごとが減少するように実践していく。
- (3) 学習者が日本語能力試験の N4～N2 を受験し全員が 6 月 12 月の試験を通して合格し、夢の一部であるが実現をサポートすることができた。
- (4) 多様な文化や価値を受け入れ、相互の成長を共に喜ぶことをそれぞれ国境を越えてできたことはうれしいかぎりである。

8 反省点・課題

活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。

また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。

- (1) 下記のように日程表作成するも、出版社との話し合いで年度末出版が多く、インデザインデータを 2 月 20 日完了が必要となり、日程を大きく修正。
- (2) インデザインデータ作成担当を Noah Presso から急きょ湘南福祉アクティビティーへ変更。
以上から全員に協力してもらい、Word データ完を 12 月末、最終インデザインデータを 2 月 21 日完了し、何とか乗り切ることができた。



**9 今後の
事業展望等**

活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。

- (1) 2020 年度は完成した「日本語ボランティア実践ノート」を用いボランティア養成講座を開催することを計画し、実行してみる。
- (2) 各教室でも「日本語ボランティア実践ノート」の活用を図る。
- (3) 実際に使ってみて、使い勝手等を検証し、場合によっては修正版を検討する。
- (4) 今後増えるであろう、新たな特定技能 1 号 2 号の人たちに対応できるよう、ボランティアのスキルアップを図っていく。

活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、補助対象事業に限定した収支を記載してください。

事務局記入欄 発展コース補助割合確認

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)	
補助金	180,000	180,000	0	平塚市市民活動推進補助金	
会費	42,000	33,000	-9,000	人員減 会費 1500 円×22 人	
他補助金	16,200	24,849	8,649	社会福祉協議会補助金の一部	
イベント参加費	28,000	20,000	-8,000	人数減 ボウリング大会：1,000 円×20 人	
収入合計	A 266,200	B 257,849	B-A -8,351	発展コース：補助対象経費 228,049 円×80 % = 182,439 円 補助限度額 180,000 円	
項目	予算額 (円) (うち補助金額)	決算額 (円)	補助対象経費 (円) (うち補助金額)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
データ作成編集費	69,000 (69,000)	76,476	76,476 (74,150)	7,476	①レダザインソフト：28,776 円 ②マーク：2,700 円 ③-1 編集代：45,000 円
印刷製本費	101,000 (101,000)	96,250	96,250 (96,250)	-4,750	③-2 102 ページ/100 冊 (一粒社) 校正修正回数 1 回で費用低減
アドバイス費	10,000 (10,000)	9,600	9,600 (9,600)	-400	④400 円×12 人×2 回=9600 円
教材費	20,000 (0)	6,820	6,820 (0)	-13,180	⑤書籍：6,820 円
教室活動費・定例会費	27,000 (0)	38,903	38,903 (0)	11,903	⑥⑦⑧教室活動費：10,380 円 ⑧⑨定例会費：28,523 円
イベント費	39,200 (0)	29,800	0 (0)	-9,400	⑩ボウリング費用：29,800
支出合計	C 266,200 (180,000)	D 257,849	228,049 (180,000)	D-C -8,351	
③収支決算額 B 257,849 円 - D 257,849 円 = 0 円				【備考】	

※支出額の () 内は、支出のうち補助金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

カベラ日本語の会 2019年度活動状況



「日本語ボランティア養成プログラム」
ミーティング状況



名称変更し、完成した
「日本語ボランティア実践ノート」



中央公民館 活動状況



ひらつか市民活動センター
活動状況



横内公民館 活動状況



ひらつか市民活動センター
第一回平塚市みんなのまちづくり事例表彰年間大賞受賞



横内公民館 活動状況



中央公民館
第一回平塚市みんなのまちづくり事例表彰年間大賞受賞



横内公民館
第一回平塚市みんなのまちづくり事例表彰年間大賞受賞